

ソニーが出資するベンチャーのキュリオ（東京・渋谷）が開発した、ドアに取りつけて電動で鍵を開け閉めする機器「スマートロック」を、関東にあるインベスターズクラウドの空室物件で5月から試験導入している。内見予約サイト「mireru（ミレル）」を開発し、見学者を募集している。

見学者はまず、同サイトで内見の日時やメールアドレスなどを登録する。登録すると鍵のURLがメールで送られてくる。URLにアクセスするとスマホに操作画面が表示され、内見予定時間から30分間は鍵を開け閉めできる。鍵の受け渡しの手間が省けるほか、

鍵不要「スマート内見」広がる

住宅の内見が便利になっている

企業	サービスの概要
インベスターズクラウド	物件の鍵をスマホで代用。簡単な操作でドアを開閉できる
レオパレス21	賃貸物件に自動ロック装置を導入。スマホで開閉可能に
日本財託	現地に行かなくてもVRで臨場感のある内見体験ができる
東急リバブル	VR機器を装着し、物件の部屋の間取りなどを確認できる



インベスターズクラウドはスマホで鍵を開閉できるようにして、鍵の受け渡しの手間を省く

IoTで貸し借り橋渡し

「管理会社の担当者が不在で鍵が手に入らず、しばらく内見できない」といった事態も防げる。物件にはタブレットを置き、見学者と物件の所有者が直接、コミュニケーション

「管理会社の担当者が不在で鍵が手に入らず、しばらく内見できない」といった事態も防げる。物件にはタブレットを置き、見学者と物件の所有者が直接、コミュニケーション

VR活用 画面で部屋確認も

不要というメリットから需要は高いとみる。インベスターズクラウドの松園勝喜CTO（最高技術責任者）は「見学者がより便利に利用できる。日本財託のスタッフが部屋を360度カメラで撮影し、VRコンテンツに加工する。レオパレス21も小型電子機器開発のグラモ（東京・豊島）と、自動ロック装置「Leo Lock（レオロック）」を開発した。レオパレス21の賃貸住宅に設置し、スマホでドアを開け閉めできるようにする。「スマート内見」に対応した物件は増えている。不動産販売の日本財託（東京・新宿）は現地を訪問なくとも内見を体験できるサービスを開始した。オートギャリーなども運営するエフマイナ

「管理会社の担当者が不在で鍵が手に入らず、しばらく内見できない」といった事態も防げる。物件にはタブレットを置き、見学者と物件の所有者が直接、コミュニケーション